

クニマッスン

出生地 忍野村

山梨県水産技術センター

口癖 でまっすん..



ふじのだいがこうざえもん  
富士大我講左衛門 年齢不詳  
職業 大我講の先達  
(先達とは富士山案内責任者)



『講左衛門さん、今日は陰陽道の竜と鳳凰についての話でまっすん。どこに鳳凰の絵があるでまっすん。』

『鳳凰は、東円寺本堂の下陣の天井に描かれておるんじゃよ。真中には八卦図（はっけず）が書かれておってな、その図を囲むように四方に鳳凰が描かれておるんじゃ。とても珍しい天井なんじゃよ。八卦図とは、古代中国から伝わったもので、様々な形があるんじゃが、方位などに当てて、運勢を占うものなんじゃ。東円寺の八卦図の真ん中には、方位を表す指針が描かれているんじゃが、その針は正確に真北を指しておるんじゃ。すごい技術だと思わんか。』

『天井の絵は誰が書いたものでまっすん？』

『記録が残っておるんじゃ。京都の石清水八幡宮社土中村鍊吉常明という方が書いたんじゃよ。社土（しゃし）という聞きなれない言葉が不思議でな、8年ほど前に石清水八幡宮に行ってきたんじゃ。中村家は石清水八幡宮に代々仕える名家であった。道教、陰陽道、仏教や神道、茶人、画家、学問だけでなく、豊富な知識があったんじゃ。そのよ

うな立派な人が描いてくれた、東円寺にある天井の絵の持つ意味は深いんじゃ。』

『中村鍊吉さんは、なぜ東円寺に縁があったでまっすん？不思議でまっすん。』

『そうじゃな。その話もしなくてはいけないな。なぜ、東円寺に縁があったのか？そこは分かっていないんじゃが、この人の子孫のお墓は、東円寺にあるんじゃよ。現在は「べにや」という屋号の家の先祖の墓の一角にあるんじゃ。』

『頭が混乱するでまっすん。なぜ？中村鍊吉さんの子孫のお墓があるでまっすん??』

『中村家は、代々石清水八幡宮に仕える名家なんじゃが、鍊吉さんの母親が亡くなられたことで、鍊吉さんの運命は変わってしまったんじゃ。父親は再婚してな、その再婚相手と鍊吉さんは気が合わなかったようじゃ。跡取り息子だったんじゃが、家を出て放浪の旅に出ておった。その旅先が忍野村（忍草村）だったんじゃよ。鍊吉さんの生きていた時代と、忍野八海が再興した時代は、多少前後するんじゃが同じ時代だったんじゃよ。天井の絵を見ると分かるんじゃが、なかなか手間のかかった絵なんじゃよ。時間をかけて描いたことが想像できるじゃろ。さて、何ヶ月も滞在していたら、お世話をしてくれる人がいたんじゃ。近所の娘さんと縁が結ばれ、男の子を授かったんじゃよ。鍊吉さんは親不孝をしているからと、せめて親に結婚したこと、子供が授かった報告をしなければと思ったんじゃよ。しかし、これが不幸の始まりじゃ。続きは次回じゃな。』 『気になるでまっすん...』